

中川村議会だより第118号アンケート結果(HP掲載：12月12日頃)

1. 今号の内容や編集について(表紙・見出し・写真・紙面構成など)

○決算特別委員会報告では審査過程を村民に伝えようとする姿勢が伝わってきました。しかし、振興課の「討論」2件の記載内容は文章が纏まっておらず、討論時に出た意見等を羅列したように見えます。議会だよりの記事である以上、討論内容のエッセンスを記載したほうが良いと思います。

○117号議会だよりアンケート結果について

議会だより毎のモニター意見等についてその都度答える必要はないと考えます。そもそも多くのモニター意見(ネットにアップされたモニターアンケート結果はすべて読みました)の中からどのような基準・方針でピックアップしたかが疑問です。天邪鬼的な見方をすれば、回答し易い意見を選んだとも考えられます。私は、モニターの意見等は複数回のアンケート結果を分析し、意見内容をグルーピングし、その中から村民に広く広報すべきものについて議会の考え方等を回答したほうが良いと思います。

上記の観点から、タイトルにある「当面の質問に対する回答」の表現は大いに疑問です。モニターは議会に早急な回答を求めているわけではないのですから。

○中学校に子供が通っているので全校合唱の表紙写真は嬉しく思いました。

○紙面構成について、これまで色々意見が出されていると思うが、あまり変化が無いように思えます。

4月号と見比べて何か違いがあるのかあまりよくわからず(写真が小さくなった?)。このアンケートで出た意見が反映されているにはあまり感じられません。「アンケートをした」という実績作りで終わらなければと思います。

○画質はこれが一番良い状態なのでしょうか? せっかく全員がそろそろ様子なので、顔がわかりやすいような画質だと良いなと感じました。

○太字、ゴシック文字が多くて、何が大切なことで何を読ませたいかわかりにくいです。途中で読むのがつかれてしまいました。カラーでない分、差別化が難しいかと思いますが、イラストなどを入れて、もっとやわらかい雰囲気があると良いなと思います。

○2ページから5ページにかけて、文体が「ですます体」と「である体」とが混在している箇所が何箇所かありますが、故意に混在させて何か効果を狙ったものとは思えませんし、実際読みにくいので統一したほうが良いと思います。

○5ページの決算認定賛成討論はたった一人なのでしょうか? 何人も発言しているならその人たちの討論内容(意見)も載せてほしいです。

○最後のページの視察研修報告は執筆者名がありません。今までも無記名であったり記名があったりして統一されていませんが、明記していただいたほうが良いと思います。

- 18 ページに掲載の意見（村会議員になった動機、日常的な仕事ぶり、議員になって1年を振り返っての感想、議員の人柄、議員の紹介的なものを載せたらどうか）は「読んでみたい議会だより」のために提案した意見として自分も賛成するところです。しかしながら「議会だよりは議会全体としての活動をするものである」として却下しています。公職選挙法に引っかかるなら致し方ありませんが、そうでないなら思い切った紙面の刷新をしてもいいのにと 생각합니다。こうした素人考えの一般村民の意見を柔軟に受け入れようとする姿勢が全くないのなら、モニター制度は意味を失うと思います。
- 目次には「第117号議会だよりアンケート結果」17～19ページとありますが、読んでみると19ページの途中からは議員研修会の報告であったり、最後はボイラーが本年度中に設置困難になったことの報告であったりします。明確な区切りや見出しもないので、モニターの質問に対する回答かと思って読み進めていくと、あれー？て違和感を覚えると同時に、なぜ編集委員が何人もいてこれに気付かないんだろう、気付いているけどあえてこうしているのかなと首をかしげてしまいます。こうした些細なことを指摘するのも嫌になりますが、これもモニターの役割としてあえて書かせていただきました。
- 2～5ページの決算報告は結局、村の広報を読めばわかるし、そちらのほうがわかりやすいと感じて読む気が起きませんでした。円グラフでなく独自に棒グラフにしたりして工夫されているんだなとは思いましたが…。
- モニター制度が始まって半年余り。議会だよりモニターからの意見とその回答で毎号何ページも紙面が埋められている現状について、これでいいんだろうか、もっと他に掲載すべきことがありはしないかと感じるころがあります。
- 給食センターの問題は17ページを読んでも、結局何のことかわかりませんでした。
- ページの小水力発電に関する記事ですが、「断念した」のか「期待される」のか何のことかわかりません。「小水力発電」と「水力発電」とが混在しているのもその一因です。
- 表紙に牧ヶ原祭の写真が載っていますが、いつ行われたとか今年はこの様な牧ヶ原祭だったなどという説明がどこにもなく残念でした。
- 紙面に写真や図が用いられている事は、分かりやすさ、理解しやすさという点でとても良い事であると思います。
- ただやはり以前にも書きましたが、使われている色を青ではない色にした方があたたかみのある、より親しみやすい感じになるのではないかと考えています。
- 5ページ「介護保険事業・・・」において基金を取り崩している現状に対して「検討する時期がくると考えます」との表現がされていますが、えらくのんびりしているなあとの印象を受けました。まだそれほどの緊急事態という事でもないという事でしょうか。
- 今回の表紙は牧ヶ原祭の写真が使われていますが中心に生徒のみなさんの音楽

会の写真かなってわかりますが、上部の写真は牧ヶ原祭のなんの写真かわからないので説明などが少しでもあっていいと思います。

- 昨年の一般会計決算状況の号を見ていないので、どのようなページになっていたのか分かりませんが、今回のページは大きなグラフで分かりやすく表現されていて良かったと思います。ただ、基金のそれぞれの名目がどういった内容なのかという知識がないので、具体的にどういった目的の貯金なのか分かりませんでした。
- モニターを引き受け、今年から初めて「議会だより」を読ませていただく機会を与えられましたが、議員でも役場の職員でもない私にとっては、いまだに分からない用語が多く、それは恐らく自分で何かしらの手段で調べれば理解できると思うのですが、そこまでのエネルギーは現状ありません。毎号きちんと読んでいる人でも、簡単に理解できる内容であるか？という点では、まだまだ読者との距離があるような印象を受けました。写真も良いのですが、必要に応じて、図であったり、他市町村の実情が分かるデータなどを載せると面白いかも知れません。「議会だより」のあら探しをするつもりは全くありませんし、今後も「議会だより」を初めて読む人間になったつもりで、興味が湧いたかどうかを報告させていただきたいと思います。
- 表紙の中学の牧ヶ原祭の音楽会の全校生徒の写真が載っていて良いと思う。その上の女生徒の写真が何なのか？良くわからない。
- 表紙：牧ヶ原祭の写真、ひづけがあったら良いと思う。明るい感じが良い。
- 特別会計決算状況：棒グラフも良いと思うが、収入の構成比を円グラフで示すと良いのでは。
- モニターからの意見に対する回答：丁寧に回答してあり、議会側の熱意が伝わってくる。これからも丁寧な回答を望みます。19 ページの見出しは「上伊那町村議会議員研修会から」とでもして、次に、サブ見出しで「議会・議員の魅力向上の手法について」研修会では以下のような話がありました。・・・で如何か。
- 裏表紙の「総務経済委員会の視察研修報告」は今後非常に大きな課題でもあると思うので、誌面を改めて、活字を大きくして、もう少し突っ込んだ内容にしたらどうか。(特に、今後対応すべき事項以下はもう少し深く)
- 今号は昨年度の会計報告についての記事でしたが、議題に上がったこと、疑問に思うことについて話し合われたことが書かれており良かったと思います。
- 表紙の写真は、生徒たちの顔がほとんど分からない。もう少し躍動的な、楽しそうな写真の方がいいのでは？と思った。
- 決算特別委員会報告は、文字がいっぱいで見にくいと思った。レイアウトをもう少し分かりやすくすると見やすいかも・・・。
- 質疑応答は、興味深い内容が多かったです。
- とくに答えのない「討論」の部分のトピックスが気になりました。「坂戸橋周辺整備」の件、陣馬形山の利用者数把握の件、美術館の温度管理も重要と感じました。陣馬形山も、このままいくとオーバーツーリズムが懸念されるので、四徳キ

- キャンプ場のシステムにならった予約の仕組みをとりいれキャンプの有料化をはかるなど。このままでは村民が立ち寄れない村の名所になってしまう気がします。
- 柳生さんが質問に出されていたクラス替えの件、私はとくに中学校で確実に必要だと考えます。人間関係が複雑化しやすい年代では、風通しをよくすることが必須であり、少なくとも一度はクラス替えをすることを求めているとかがえしています。
 - 太陽光発電についても大変気がかりです。環境汚染が懸念されるほか、今年のような台風が直撃した際には土砂崩れなどで大きな被害をもたらす危険性もあります。まさに話されているとおり、条例の制定をしていただけたらありがたいです。
 - 内々の報告書と思わせる構成になっていると感じる。村外の友人が我が家に訪れた際、本議会だよりを手にして読んで貰った。彼の印象は、「何の事が書いてあるか全く分からない。構成・編集・デザインも改善の余地だらけ」であった。私も常々思っていて、アンケートでも幾度か文章にしてきたが、これは一般的な素直な意見と言えると思う。村内で現行の議会だよりを「当たり前」として捉えている方々とギャップがある一般的な評価をさぐり、改善どころを見つけるべきである。それは議員成りて不足対策のひとつの手段になるとさえ感じる。議会だよりを目にした村外の人が、中川村の魅力に興味を持つツールとなりうることを意識してほしい。村おこし事業ともつながっている。
 - 表紙：中央写真の「第44回牧ヶ原祭」見出しが切れていて、レイアウトのアンバランスなところが残念。(デザイン面)
 - 見出し：特に2,3ページのタイトル、内容が理解出来ない。初めて議会だよりを目にする人が読んでも分かる読み物にしてほしい。いつ、どこで、だれが、なにを」が一般的にも分かる内容を意識してほしい。(編集面)
 - 写真：いろいろな人が撮っている写真を集めて編集していると察する中、よりよい写真を掲載する為に考えられること。写真イメージの向上を図るには、保育園行事や図書館行事で写真をボランティアで撮っている方（名前を存じあげないのですが、いつもいい写真を撮っているように見受けられます）など、写真の”センスがある”村内アマチュアカメラマンに撮影を依頼してはどうでしょうか？複数人に掲載写真撮影依頼をし、その都度、採用写真を選び、撮影者のクレジットをすることにより自己実現を促す。議会だよりだけではなく、広報中川においても毎回感じていますが、表紙などに写真を掲載する場合、本人や保護者に許可は事前に得ているのでしょうか？村内では肖像権フリーの傾向を感じますが、時代遅れであり、都市からの移住者は疑問を感じます。

2. 議会だよりに載せて欲しい情報は

- 118号には議案・陳情等に対する議員別賛否が記載されていませんが、そのような場面が無かったということでしょうか。もし編集の都合でカットされたとすれ

- ば残念です。賛否の様子で議員諸氏の考え方がわかりますので、議会だよりには必ず載せていただきたいと思います。
- 次号にてアンケートの集計、多かった意見などは何かなどが分かると思います。それを実際に議会だよりづくりに活かしてほしい。
 - 保育園や小・中学校で行ったイベントの様子や子供たちの声、保護者たちの声
 - 地区のイベントの様子(自治体に興味、関心をもつきっかけになると良いと思います。)
 - 竜東線(飯沼北組間)の改良について、今どのような状況になっているのか、将来的な見通しはどうなっているのか知りたいです。
 - 平成30年度一般会計・特別会計決算が載っていますが、過去の決算と比べたデータや近隣の同程度の人口の村と比べたデータなど違った目線から中川村の財政を見てみるのも必要だと思います。
 - 決算特別委員会報告で「討論」と書かれた部分がありますが、読んだ限りではどのように討論がなされたのかよくわかりません。載せられる量に限りはあるかと思いますがもう少し詳しく、そしてどの議員の発言によるものかわかるような書き方がされておれば、各々の議員の考え方が読む人に伝わるので良いのではないのでしょうか。
 - 議員さん個人活動の紹介を書いてもいいのではないかな。
 - 「議会だより」が発行される間隙のうちに、村の中で何が変わったのか、何が決まったのか、分かりやすく説明していただけたらと思います。議会で何かを話しあっているのだろう、ということは分かりますが、その「結論」がいつもどこに存在しているか分かりにくいです。
 - 議会の説明をシリーズで載せてはどうか。例えば、議会の構成；定例議会、臨時議会、本会議、常任委員会、特別委員会等議会基本条例の説明(どのような経過からできたのか、また、目的は等議会活性化委員会の目的と内容についても説明をしておく、回答が解り易いと思う。
 - 議会での質疑応答も必要であるが、それ以外の視察報告は委員会報告なども充実して載せてほしい。
 - 今後大きな災害が伊那谷に訪れてもおかしくないと思います。住民が自分の住んでいる地域がハザードマップで赤が付いているとか、どこに避難すればいいか知っているか、避難勧告が出たら避難しようと思っているなど、どのように思っているかアンケートを取って、載せて欲しいです。
 - いろいろな方からの意見？あるいは、税に関するポスターなど、政治にかかわる文化事業については村報ではなくこちらに掲載することで関心が高まるかもしれないと思いました。
 - 17ページからの「アンケート結果に対する回答」を掲載いただきありがとうございます。18ページ右上部のレイアウトに関する質問に対して、「予算上の2色刷りの紙を使用している」と回答いただいておりますが、全く検討違いの答えと感じ

ます。印刷の色数を指摘したのではなく、全体的なデザイン、レイアウトが読みやすさを損ねていると指摘しています。

3. 議会・村に対する要望、意見等

○私は前回のアンケートで『村側が「検討する」と答えた項目にはその後の議会で更に追及していただきたい』旨を記載しましたが、今回の一般質問の中で複数の議員さんがそのような質問をされており心強く思いました。

○県北や関東各地で台風被害が多かった今年、どの町村も中川村も被害にあうことがあるかと思います。

水害（浸水）などにあったら片付ける前に水位が分かる記録写真を撮っておくなど、具体的にやっておいた方がよいことなどをまずは村の職員が把握しておいてほしい。その上で最低限する事などのマニュアルをハザードマップと一緒に配布やネット上に載せるなどがあればいい。

○「中川村ブランディングサイト」に私自身、情報提供をしているので言いたいのだが、ブランディングサイトのリンクが分かりにくい。人に見てもらうために作ったのならトップページの一番上に目立つようにすべき。

ゴミの出し方や村営住宅など具体的な情報が欲しい人は村のホームページのどこにその情報があるかは自分で探す。そうではなく、漠然と中川村の情報を見たい人にアピールするためのブランディングサイトなら、まずはそれが目立たなければ作った意味がない。現状ではブランディングサイトの存在自体に気づかない人もおおいのでは？

○表紙 生徒全員の写真より動きのある写真を大きく使った方がいいと思う。

○会計決算状況 あまり意味が分からず読んでいて眠くなってしまった。

○議員のページ

（桂川議員）見出しが発言の中の文章そのまま、文面で同じことばを使わない方がいいと思う。簡単な文で要約した、見出しにしては？

（柳生議員）～についてといった見出しはおかしい？ 小見出しが多すぎて読みづらい。

（片桐議員）私も次世代人材投資事業の資金を交付していただいているが、減額は農業を始める若者にとって、初期投資の支援となるため大変重要です。減額になった場合の支援をお願いしたい。

○モニターの意見のページ

モニターの色んな声を知りとてもいいと思う。

HPに掲載されていても、なかなか見る時間がないが、議会だよりに記載されていると、多くの住民が関心を持てると思う。（中川村は高齢者率が高いので、アナログも必要ではないのか）

○水力発電について

比較的水に恵まれている中川村にとって、重要なエネルギー調達源になるので

- 色々な問題点があると思いますが、これからも頑張って取り組んでほしい。
- 農林地を利用した太陽光発電施設は、貴重な農林地を疲弊させ、景観も損なうので、既存の施設の屋根などを利用した施設が望ましいのではないかと思う。
 - 投票率の低下について
子ども会議はとてもいいと思う。ただ、年1回だけの開催では無く、毎回の議会へ中学生(生徒代表)に参加してもらい学校へ報告をするなどの形を取り、中川村の事から国政を考えて行ける良い機会になるのでは。子どもから親世代を巻きこみ、全世代で政策を考えて行けたら理想だと思う。
 - 骨髄移植によってしか治療できない皆さんを一人でも多く救うための骨髄バンクドナー登録が今よりもっと気軽にできるよう、その足掛かりの一つとして自治体での助成制度を考えてみてはどうでしょうか。
 - つくっチャオの運用の仕方についてもう一度よく考えてほしい。現在はジャム加工とジュース加工が主であるかと思いますが、せっかく立派な設備があるので、もっと色々な農産加工に取り組んでいただける事を望みます。
 - 田島郵便局の西側の交差点なのですが、西小学校へ向う方向が止まれになっていますが自分も3回今年停止せず突っ込んで来る人がいました。小学校の通学路にもなっているので心配です。あと保育園の送り迎えの車の中には狭い道でのスピードの出しすぎや一旦停止の無視も気になります。
 - 江藤俊昭先生の講演内容をまとめた部分がとても面白く感じました。「議会の対応」として、短い抱負が載せられていますが、ささいなことでも、今までに執られてこなかった活動スタイルを、実際に実行してみていただけたらと思います。議員間討論や、実効性のある代案など、そういう部分を読者は一番知りたいのではないかと思います。「こういう質問をする議員さん」を選挙で選んでいるのではなく、そういった議論をどんどんしていただくとともに、その内容を「議会だより」に載せていただけたらと思います。
 - 子育てに対する意見や取り組みは、多いと思うのだが、障害者に対する意見、取り組みが行われているのか？疑問である。
 - 今回の台風19号で、自然の怖さを改めて感じました。自分の住んでいる地域に避難勧告が出た場合、村ではどのような設備(避難場所に)があるのか知りたいです。例えば寝具やベッド、パーテーション暖房器具など・・・もし充実していないならば、検討して頂きたいです。
 - 陣馬形のキャンプ場有料化について早急に考えて頂きたいです。土日などは、地元の人が遊びに行けない程混み合っている日が多いです。ゴミなどの問題も。
 - おためしシェアオフィスのその後が知りたいです。幅広く活用されているのか？
 - 村内に学級崩壊のクラスがあると聞き(小学校)心配です。村としてはどのように対応しているのでしょうか？
 - 畑でプラスチックなどを燃やす人がいます。村がそういう人達に対して注意を呼びかけて欲しいです。

○前号よりも興味深い内容の質問が多く、共感するものも多くじっくりと読ませていただきました。空き家についても、出ていたとおりに探している人が多いのにマッチングがなかなか進まず、もどかしい思いです。移住希望者は新しい住宅もいいけど、「住めるけどピカピカじゃない」住宅に魅力を感じたりするので、悩ましいです。一方で我が家は、移住4年目にして住宅取得をしましたが、その際に役場の方から教えていただいて住宅取得の補助金を活用することができとてもありがたかったです。

○西小と東小の施設や活動の差が気になっています。中学校で吹奏楽部があるのに、小学校の鼓笛隊は西小にしかない、遊具の量が西小の方が圧倒的に多いなど、機会の差につながるようなことは是正していただきたいです。

○村内での除草剤使用について

保育園児、小中学生の登校場所や、子どもたちが遊ぶ場所への除草剤散布による甚大な健康被害をもたらす危険性があるということを周知していただきたい。グリホサート系の除草剤は、世界的に健康被害のリスクが明らかになり、法律によって禁止条例が出ているヨーロッパ諸国も存在します。モンサント社に対する訴訟額は数百億ドルに及ぶほど、この除草剤は人体にも毒であるということが証明されています。日本国内では規制がないために、農協はもとより一般ホームセンターなどの店頭で購入ができる状況です。しかしながら、世界的な視野や、子供達の健康を敏感に捉える人たちはこれらの農薬に対して敏感なアンテナを張って生活をしています。Iターン者達の多くはこのような意識を持った人たちです。村内において、現代農法による農業従事者や、草刈りの重労働を緩和させたい地権者さん方は数十年前に登場した除草剤を便利な薬として疑いなく利用しているのでしょうか。地域の土地や道を守る為の除草作業への責任感には歴史の重みを感じます。これは意識の問題であると同時に行政が呼びかけることが出来る題材だと考えます。これからを担う子どもたちのことを第一に考えた呼びかけです。飛散しないようする注意、子供達が遊ぶ場所への散布は健康被害への心配があると同時に、豊かな自然が育む虫達も追いやってしまいます。このメッセージを行政から発信することで、村内での他者を思う意識レベルはあがるでしょう。昔からの村民と移住者との間も緩和されることでしょう。このメッセージは、「だれもが羨む村づくり」につながることも間違いはないと考えます。

4. その他

○モニターのアンケート結果は全て村HPにアップされていますが、「議会→議会情報→令和元年中川村議会だより」の個所ではなく「議会→議会だよりなかがわ」の個所にしたほうが、良いと思います。

○現状副収入がある人でないと議員活動が難しいと思う。又、片手間で議員活動をするわけにはいけないので、時間的余裕も必要。そう考えると、専門の村会議員である事が理想だがその為には議員報酬を生活できるレベルまで引き上げなけ

ればならない。そうすれば立候補者が増え、選挙への関心も高まり多様な価値観、考え方が村政に反映されるのではないか。

又貴重な財源を議員報酬に当てる事で、村全体として村政への関心が高まり適正な運営がなされるよう村民の間でも活発な議論が期待できるのではないか。

- 若い世代の議員さんが出て、子育てのリアルな意見や柔らかな考えがでるともつと村が盛り上がっていくのではと思いますが、現実問題難しいだろうと思います。核家族世帯も増えているので子どものことを思うと、村のことを考える時間より、子育てが第一になってしまいます。働きやすい時間や、自宅でできる仕事、合間時間にやれる内容など子育て世帯に特化した議員体制(特別枠議員)があるとい良いなあと思います。
- 片桐区民会館で学童保育をしているので、大広間のじゅうたんなど、ボロボロになってきている所があります。子供が使うので仕方ないと思いますが、少しきれいにした方がいいと思います。村歌の歌詞が書かれた額もボロボロです。
- この問題も深刻だと思います。私は国会も含めて日本は議員が高齢すぎると考えています。フランスの大統領は私と同じ年です。そのくらい、若い人が参画するためにはやはり報酬を上げることが第一ではないかと思います。
- 議員なりて不足 WG (ワーキング グループ) を設置
議員、役場職員 (協力隊)、一般村民によって構成
何をすべきかアイデアを出し合い、実行する
- 出来ることアイデア
議会だよりのリニューアル
SNS 発信 (議員、または WG から配信)